

カネパッケージ株式会社

CSR報告書

a report on corporate social responsibility

2018.8-2019.7

KANEPACKAGE

経営ビジョン

私たちは、包装設計と梱包材、そしてサービスを通じ、
『驚き』と『感動』と『安心』を、
世界の一つでも多くの国の、一人でも多くのお客様に、
スピーディー且つタイムリーにお届けして行きます。
また、ステークホルダーからの信頼を高め、
企業の存在価値を高め、
エキセレントカンパニーを目指して行きます。

目次	ページ
● ご挨拶	2
● 会社概要	3
● カネパッケージのCSR	4
● 数値でみる環境活動	4
● CSR活動基本原則	5
● 特集	6
① マングローブ植林活動報告	
② プラシエルで環境汚染を削減	
③ 海外拠点のCSR活動	
● CSR活動報告	11
・ 技術開発/技術紹介	
・ 展示会	
・ BCPへの取組み	
・ 講演活動	
・ 地域貢献	
・ 就業支援	
● 過去の受賞歴	17
● 受賞歴	18

私たちカネパッケージは、すべてのステークホルダーの皆様「驚き」と「感動」と「安心」をご提供することをモットーに、「包む」技術を進化させ、「もの」を包むだけではなく、お客様の大切な「まごころ」も大切に包み、空気をきれいにする夢のパッケージを、一人でも多くのお客様にお届けして参ります。

今年も、引き続き新社屋からの情報発信を積極的に行い、新しい取り組みも積極的に行ってきました。農業用ドローン、医療・介護ロボット、電子マネー決済機等々の分野でも当社の梱包設計技術を高く評価していただきました。

“CSR活動”として開始したマングローブの植林は10年目を迎え、植林した本数は11,892,019本、面積は332haになりました。また、このマングローブ植林の研究結果が認められ社員第1号の博士号を取得しました。さらに、このマングローブの研究を進めるために研究開発センターをフィリピンに開設し、地球の温暖化並びに持続的な自然環境改善に貢献できる仕組み作りをしております。これも偏に皆様のご理解とご協力の賜物と深く感謝申し上げます。

今年も引き続き、埼玉県「冠奨学金基金」へも「カネパッケージマングローブ基金」として参加させて頂き、埼玉県「グローバル人財育成のプログラミング」にも参加させて頂きました。

今年、海洋ゴミの原因となっているプラスチックの削減を、毎日出るたまごの殻を再生利用して実現するプロジェクトを開始しました。たまごの殻の粉末を50%以上プラスチック製品に混ぜて、プラスチックを削減するプロジェクト“プラシェル”も、30社以上の企業並びに団体の皆様に賛同を頂き推進しています。

また、国連サミットで採択されたSDG's(持続可能な開発目標)を、当社もグループをあげて推進することにしました。事業を通じて、“CSR活動”を通じてさらに幅広く、積極的にSDG'sの貢献に向かって邁進していきます。

次の新しい時代に向かって、一步一步確かな歩みで当社のおもてなし精神と真心を持って活動していきます。

今後とも末長くご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い致します。

2019年8月吉日

カネパッケージ株式会社
代表取締役社長 金坂 良一



会社概要

商号	カネパッケージ株式会社
設立	昭和 51 年 9 月 29 日
資本金	5,000 万円
従業員数	1,100 名（関連会社含む）
事業内容	・各種緩衝材・設計・試験・製造・販売、 各種段ボール、OA 機器等のソフトバック など販売（海外キット製品管理・梱包・ トータル物流）
役員	会長 兼平 作太郎 代表取締役社長 金坂 良一 常務取締役 高村 賢二 取締役 勝野 旭

国内外拠点一覧



【国内】

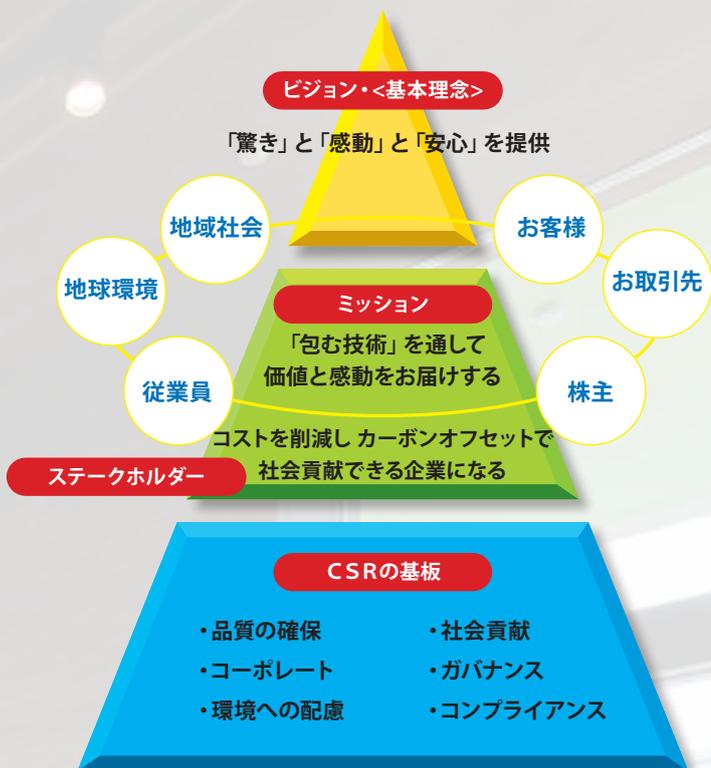
本社	埼玉県入間市南峯 1095-15
柏事業所	千葉県柏市船戸 1629
東北営業所	青森県青森市大字戸門字見通 34-1
白河営業所	福島県白河市老久保山 1-1

【海外】

フィリピン、ベトナム、タイ、インドネシア、メキシコ、香港

国内拠点 4 拠点 / 海外拠点 8 拠点

● カネパッケージ株式会社のCSR



CSR基本方針

- (1) 当社は企業理念・行動憲章に則り、企業活動の全ての領域にわたり、社会的責任を果たすべく、当社を支えていただいているステークホルダー（お客様・地域社会・パートナー・従業員・株主等）との良好な関係を維持・発展させ、社会との共存と、継続的成長を実現することに努力します。
- (2) 全てのCSR活動の基盤はコーポレート・ガバナンス（＝企業理念の確立・維持・経営の効率性・健全性・透明性の確保）、コンプライアンス（＝法令・行動憲章・行動基準の順守・リスクマネジメント・情報開示）、品質の確保、あらゆる面での環境への配慮などの社会貢献活動にあります。

● 数値でみる環境活動

当社は海洋保全をはじめ地球環境を保護する活動を毎年行っております。また社員一人ひとりがその維持向上に積極的に取り組める環境を作って行きます。

● マングローブ植林による CO₂吸収量

2009年-2018年
累計

842
[t-CO₂]

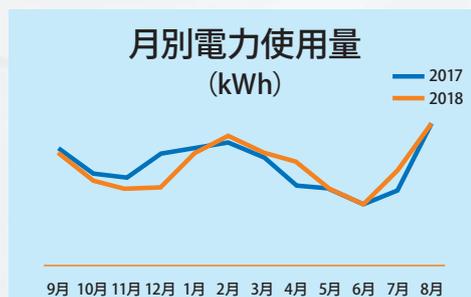


マングローブ植林を始めてからの累計CO₂吸収量は842(t-co2)になります。

● 電力削減による CO₂削減量

2018年度
(本社新社屋)

156
[kg-CO₂/kWh]



2017年度から2018年度に削減できたCO₂削減量は156(kg-CO₂/kWh)でした。

CSR活動基本原則

カネパッケージ株式会社は、継続的に実施してきたCSRの取組みを活かしなが < 基本理念 > のビジョンを実現する為、重点課題を特定し推進してきました。

梱包材のビジネスでは、弊社のコア技術であります「究極の緩衝設計」を駆使し、梱包材のダウンサイジング化、省資源化、積載効率のUP、トータル梱包材物流コストの効率化のご提案を行い、Co2の削減を積極的に行っております。

この度、国際社会の動向2030年に向けた「持続可能な開発目標 (SDGs)」や事業領域の拡大などの環境変化をふまえ、持続可能な社会の実現と更なる企業の成長を目指す為、次の5つの基本原則を推進します。



5つの推進基本原則

1 地球環境問題への対応

梱包材のダウンサイジング化、省資源化、積載効率のUP、トータル梱包材物流コストの効率化を提案し、Co2の削減を推進すると共に、マングローブ植林活動による気候変動への適応と緩和、生物多様性の保全を行い持続可能な社会の実現に貢献します。



2 災害への取組み

防災・減災に資する製品・サービスなどの提供や、さまざまな組織と協働し、人々が安全・安心に暮らせる社会の実現に貢献します。



3 再生可能資源の活用

再生利用可能な資源を有効活用とさまざまな組織と協働し、人々がよりよく生活できる社会の実現に貢献します。



4 よりよいコミュニティー・社会づくり

社会貢献活動や地域の文化振興に資する活動を通じ、ステークホルダーからもともと信頼される企業として、よりよいコミュニティー・社会の実現に貢献します。



5 ダイバシティーの推進・啓発

基本的な人権を尊重し、多様な個性を認めダイバシティーを推進することで、社員を含めたステークホルダーが活躍できる社会の実現に貢献します。





● 第18回マングローブ植林ツアーを実施

2018年11月09日(金)～12日(月)に第18回マングローブ植林ツアーを開催致しました。弊社海外従業員含め総勢約30名でセブ島の南西部に位置するシティオダプダプにてマングローブの植林を行いました。



● 第20回マングローブ植林ツアーを実施

2019年2月08日(金)～11日(月)に第20回マングローブ植林ツアーを開催致しました。



青い地球へおくりもの
+02マングローブ植林事業

(2019年6月30日時点)

マングローブ植林本数 **11,892,019本**

(332.1ha)

東京ドームおよそ71個分の広さと同じ

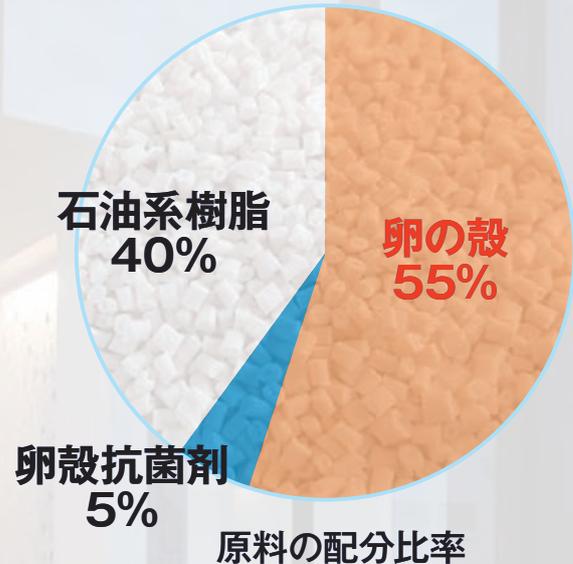


● 卵の殻を利用したバイオマスプラスチック

弊社は、近年問題となっている石油由来のプラスチック製品による環境汚染削減に積極的に取り組んでおります。その一つが卵の殻を配合したプラシエル樹脂の有効活用です。プラシエル樹脂は、特殊な製造技術により卵の殻と卵の抗菌剤を樹脂に配合することでプラスチックを60%削減した新素材です。これにより石油系樹脂製品を削減することが出来ると同時に、産業廃棄物となっていた卵の殻の有効活用にも繋がります。



プラシエル樹脂



このバイオプラスチック事業は
埼玉県が主催している

第8回澁沢栄一ビジネス大賞

”ベンチャースピリット部門”で
「奨励賞」を受賞！

Shinagawa Business Club

第9回ビジネス創造コンテスト

「奨励賞」を受賞!

● プラシエル樹脂を配合した製品

プラシエル樹脂を使用した製品は、リターナブル箸・トレイ・オープナーなど数多くの製品が商品化され沢山の企業や公共施設などで使用されています。



● バイオプラの促進 “エコ玉プロジェクト”

バイオマスプラスチックを使用した「プラシエル」を埼玉県を中心に日本全国に普及させる為、開発した株式会社サムライトレーディングと共催し埼玉県発のエコ玉プロジェクトを発足。参画して頂ける大手企業や行政、金融機関などと連携しプロジェクトを推進しております。



● フィリピンの子供たちへクリスマスプレゼントを届けました

2018年12月12日～19日にかけて、セブ ネグロスオリエンタル・ボホール・オランゴ島にある3つの学校の、総勢 413 人の子供たちにクリスマスプレゼントを届けました。今回は弊社従業員のみでなく埼玉大学からのインターンシップ生も参加しました。クリスマスパーティーでは子供たちから笑顔と元気を貰い幸せな時間を共有出来ました。



● フィリピンの幼稚園へ教材を寄付致しました

2018年8月1日、当社がマングローブ植林を実施しているフィリピンのサン = ビセン デイケアセンター（オランゴ）、バナコン デイケアセンター（バナコン島）、マニピス デイケアセンター（ネグロスオリエンタル）の 3 つの幼稚園を訪問し全6冊の教材を寄付させて頂きました。

当日は、弊社従業員より道徳教育用の民話をお話したりしました。弊社はこれからもこのような活動を通じ、多くの子供たちの手助けをして行きたいと思えます。



● フィリピン ミンダナオ島の高校へ教材や物資を寄付

2019年6月3日、カネパッケージグループはフィリピンミンダナオ島中央部の北コタバト州ミサヤップにある、ビリアリカ高校に教材や備品などを寄付してまいりました。

弊社はこれからも、このような活動を通してすべての人に質の高い教育が平等に受けられるような学習環境を提供してまいります。



● マングローブ博士号取得記念式典を開催致しました

2018年12月8日(土)・9日(日)に今年の9月にマングローブ(品種名: *Rhizophora stylosa*[日本名 ヒエヤマヒルギ])の研究で博士号を取得した弊社従業員(ABNER BARNUEVO)の記念式典をフィリピンのマニラとセブで行いました。式典には KPPI/SFLI/KPG の従業員も出席し盛大に執り行われました。



● 当社従業員がマングローブ研究で博士号を取得致しました

2015年10月より埼玉大学工学部環境共生学科でマングローブ(品種名: *Rhizophora stylosa*[日本名 ヒエヤマヒルギ])に対する、塩分濃度及び浸水が生育に及ぼす生化学的ストレス反応の研究をしておりました当社社員(ABNER BARNUEVO)が、この度博士号を取得致しました。

今後は、フィリピンの工場に戻り研究を続けマングローブ植林活動による環境改善に努めて参ります。



展示会

an exhibition

CSR Report 2018.8-2019.7

「第19回西武ビジネスフェア」に出展いたしました

2018年11月6日(火)に東京ドームプリズムホールにて開催されました「第19回西武ビジネスフェア」に出展いたしました。

2018年
11月



第7回いるま環境フェアに出展致しました

2018年
9月

平成30年9月30日(日)入間市産業文化センターで開催されました、第七回いるま環境フェアに出展させて頂きました。今年では会話ロボット“PALRO(バルロ)”に協力頂き、会社PRを致しました。ブース前はバルロの仕草や会話に子供から大人まで皆さん惹きつけられ楽しんでいました。

当日台風接近の中でお来場頂いた皆様をはじめ、日頃弊社の活動にご理解、ご協力頂いている皆様にも、深く感謝申し上げます。



「BIZ SAITAMAさいたま市産業交流展2018」に参加

2018年
11月

平成30年11月20日・21日(2日間)、さいたま市のソニックシティビルに於きまして開催されました「BIZ SAITAMAさいたま市産業交流展2018」に参加致しました。

展示商談会では、来場された企業の方々に弊社の技術や特徴をPRし交流を図る事が出来ました。



「ロボット・航空宇宙フェスタ2018」に出展

2018年11月22(木)～23(金)ビックパレットふくしま(郡山市)で開催されました「ロボット・航空宇宙フェスタ2018」に昨年に引き続き出展させて頂きました。
2日間、大変多くの皆様にご来場頂き誠に有難う御座いました。

2018年
11月



彩の国ビジネスアリーナ2019に出展いたしました

2019年
1月

2019年1月30日(水)～31(木)2日間、埼玉スーパーアリーナにて開催されました「彩の国ビジネスアリーナ2019」に出展いたしました。
今回の出展テーマは、「防災」(箱型担架)「環境」(ブラシエル)「女性活躍支援」(授乳室)等をご紹介させて頂きましたが、お陰様で、2日間を通じ、大変多くの皆様にご来場頂き心より感謝申し上げます。
引き続き、当社は、梱包事業を通じ、カネパッケージならではの社会貢献活動を行って参ります。



技術開発

technical innovation

CSR Report 2018.8-2019.7

第8回KPグループ設計コンテストを開催致しました

2018年10月3日（水）、本社に於きまして「第8回KPグループ設計コンテスト」を開催致しました。

このコンテストは国内外の拠点で開発された優れた梱包材や緩衝材について表彰するもので、今回は7チームの中からSFLI（フィリピン）の「エアバック用共通緩衝材」が優勝致しました。当社はこれからもお客様に「驚き」と「感動」を与え、満足頂ける商品を提供して参ります。

2018年
10月



優勝 SFLI(フィリピン)
2位 KPMX(メキシコ)
3位 KPPI(フィリピン)

第9回KPグループ設計コンテストを開催致しました

2019年
4月

2019年4月12日（金）に本社に於きまして「第9回KPグループ設計コンテスト」を開催致しました。

国内外の各拠点の設計技術力の向上と共有を目的に年2回開催しているコンテストですが、今回は日本の「UPS(無停電電源装置)梱装箱」が優勝致しました。

【設計部トピック】

カネパッケージグループ
～第9回設計コンペティション～
(2019年度4月12日開催)



優勝 KPJP(日本)
2位 KPVN(ベトナム)
3位 KPMX(メキシコ)

技術紹介

technical Expertise

CSR Report 2018.8-2019.7

高重量・薄板筐体用ダンボール4点パッド

製品輸送中の不慮の事故に備えた段ボール緩衝材ですが、特に筐体の変形に配慮した仕様の緩衝材です。

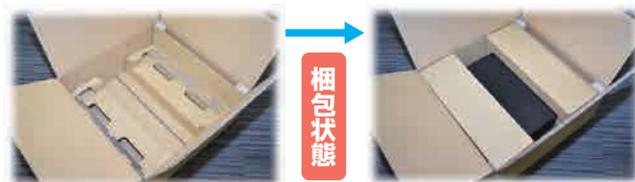
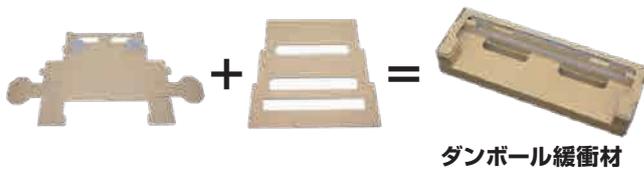
段ボールの特性を生かし、立体と平面、さらには空間もコンビネーションした構造となっております。

この技術を応用した緩衝材を提案致します。

オールダンボール緩衝材

緩衝性により板金の変形等にも対応

通常のパットよりも強度と緩衝性を上げた構造



設計ポイント



ポイント1

角の内側を空間にする事により、角落下時の衝撃緩和!



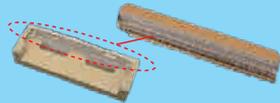
ポイント2

ダンボールの積層材を内側の空間に配置、パットの強度を向上!



ポイント3

製品受け部分の下部を空間にし、衝撃緩和!



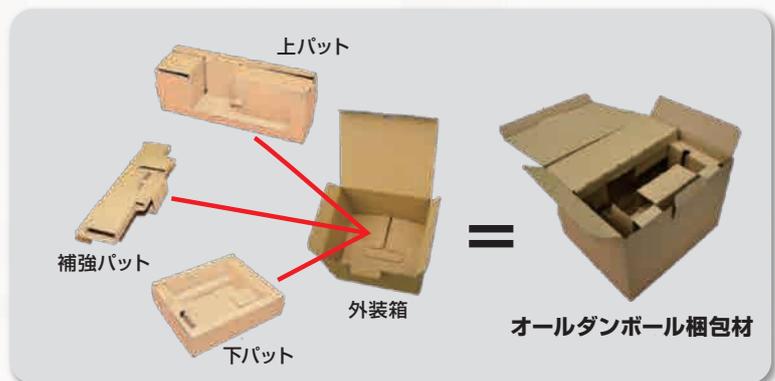
小型板金構造体へのオールダンボール緩衝材

小型軽量の板金素材を多用された製品への環境に配慮したオールダンボール製の包装材です。製品の複雑な形状や脆弱な部位に対しまして、その特性にあわせた緩衝設計を施しております。

オールダンボール緩衝材

80cm から落としても製品を守る梱包材

お客様の一つ一つの要求にコミット!



ポイント1

実際の落下試験などを行い、トライ&エラーの中で生じた板金部の歪みなどを抑制する補強パットを作製。お客様のコストとの兼ね合いの中で**省資源化**と**低コスト化**を図り1枚パットでの作製を可能としました!



ポイント2

製品強度の弱い部位の緩衝面に肉抜きを施すことで**衝撃力の緩和**を図った。

下パット

初回提案品

肉抜き

改善品



ポイント3

弊社の試験設備をご活用して頂きながら、梱包材への**安心**をご提供!



講演活動

a lecture

CSR Report 2018.8-2019.7

東洋大学「井上円了哲学塾」で講義

2018年11月17日(土) 東洋大学白山キャンパスで開催されました「井上円了哲学塾」に於きまして、昨年・一昨年に続き弊社代表 金坂が、講義を行いました。参加した大学生・一般社会人の塾生からは、大変有意義な講演だったと感想を頂きました。弊社は、これからもこのような活動を続け、多くの学生の皆様に感動を与えて行きたいと思えます。

2018年
11月



弊社代表 金坂が 「海外展開の取り組み事例」 というテーマで講演

2018年
8月

平成30年8月2日(木)に、中小企業庁飯経済産業研修所で実施されました「平成30年度ふるさと名物支援担当者研修」で、弊社代表 金坂が「海外展開の取り組み事例」というテーマにて講演させて頂きました。



明治大学政経学部にて 「おもてなし経営企業」の講義

2019年
5月

令和元年5月9日(木)・16日(木)の2日間、弊社代表 金坂が母校の明治大学政経学部にて「おもてなし経営企業」の講義を行いました。今年で5年続けてとなりますが、政経学部の学生を対象に「国内外におけるカネパッケージの事業展開とおもてなし経営」というテーマで考えられる経営課題を想定し授業致しました。



BCPへの 取り組み

Business Continuity Plan

CSR Report 2018.8-2019.7

交通安全講習会開催報告

2019年3月14日(木)毎年恒例の交通安全講習会を開催いたしました。

2019年
3月



本社で防災訓練を実施しました

2018年
8月

2018年8月17日(金)、本社及び物流センター合同で防災訓練を実施致しました。今回は避難場所への避難経路の確認と、消火器の取扱いについての訓練を致しました。

弊社は、ISO22301を認証取得している企業として、常にお客様に対し「安心」「安全」をご提供し続けていきたいと思えます。



地域貢献

contribute to community

CSR Report 2018.8-2019.7

青梅「猫町」物語に 参加致しました

2019年
3月

2019年3月2日(土)～3日(日)に開催されました青梅「猫町」物語に参加致しました。当日は猫ちゃんハウスの展示販売を行い多くの方々で賑わいました。



愛知県立南陽高等学校 NanyoCompany部様より マングローブ植林にご寄付

2019年
5月

令和元年5月22日、愛知県立南陽高等学校NanyoCompany部様より、弊社マングローブ事業に対してご寄付を頂きました。毎年、マングローブ植林事業にご賛同頂いてから今年で6年目を迎え、累計植林本数は1200本となりました。改めまして南陽高等学校様の活動に深く感謝申し上げます。今後とも、宜しくお願ひ申し上げます。



夏休み企画「入間市の未来都市を作ろう」に 参加致しました

2018年
8月

2018年8月11日・19日の2日間、入間市児童センターで行われた夏休み企画「入間市の未来都市を作ろう」に参加。弊社社員が集まった子供たちに段ボールでビルや鉄道などの作り方を教えました。今後も私たちは地域貢献に、より一層力を入れ積極的に取り組んで参ります。



第9回福祉ふれあい祭りに 参加致しました

2019年
5月

2019年5月11日(日)に入間市の彩の森入間公園で行われました「第9回福祉ふれあい祭り」に参加致しました。当日は晴天に恵まれ多くの家族連れで賑わう中、ペットハウスの販売やミルクハウス(プライベートスペース)などのレンタル販売などを行いました。弊社はこれからもこのような地域の活性化活動に積極的に参加して行きます。



就業支援

employment support

CSR Report 2018.8-2019.7

駿河台大学のインターンシップ生 2名を受け入れました

2018年
9月

平成30年9月10日～14日(5日間)に、駿河台大学のインターンシップ生2名を受け入れました。今回は、展示用ツリーの製作を初め色々な梱包箱の製作を手伝って頂きました。今後のお二人のご活躍を祈念しております。



海外インターンシップ帰国報告会が 開催されました

2018年
11月

2018年11月29日(木)、埼玉県知事公館に於きまして海外インターンシップ帰国報告会が開催されました。

本年度の受入企業は弊社含め8社、参加学生は13大学より22名が参加いたしました。報告ではインターンシップで学んだことや今後の行動方針・決意表明を、しっかりと受入れた企業様それぞれに感謝を込めて報告していました。



● 過去の受賞歴 our past award winning

2013 (平成25年)

- 10月 東京商工会議所主催 第11回勇気ある経営大賞「優秀賞」受賞
- 11月 TAMA産業活性化協会主催「第6回TAMA産学官金サミット」にて「TAMAブランド企業」に認定 同時に「マングローブ環境保全大賞」受賞
- 12月 環境省主催「地球温暖化防止活動環境大臣表彰式」にて「国際貢献部門」受賞

2014 (平成26年)

- 2月 埼玉県埼玉グローバル賞 (未来への投資部門) 受賞 同時に「埼玉親善大使」任命
- 2月 公益社団法人日本フィランソロピー協会 第11回「企業フィランソロピー大賞」受賞
- 3月 経済産業省主催「平成25年度おもてなし経営企業選」受賞
- 4月 フジサンケイグループ主催第23回「地球環境大賞」「環境大臣賞」受賞
- 4月 埼玉産業人クラブ主催 第10回「埼玉ちゃれんじ企業経営者表彰」「特別賞」受賞
- 5月 埼玉県商工会連合会より会長感謝状

2015 (平成27年)

- 12月 第17回グリーン購入大賞にて審査員奨励賞受賞
- 8月 2015年日本パッケージングコンテスト入賞

2016 (平成28年)

- 1月 第33回優秀経営者顕彰贈賞式に出席
- 6月 入間市事業所防犯協議会より感謝状
- 7月 第46回社会貢献者表彰を受賞
- 9月 第4回ベンチャー・中小企業 グローバル大賞にて最優秀賞を受賞

2017 (平成29年)

- 1月 能美防災株式会社様より 感謝状を授与
- 5月 「埼玉発世界行き」冠奨学金で感謝状
- 10月 埼玉県シニア活躍推進宣言企業に認定
- 12月 弊社が「地域未来牽引企業」に認定



● **受賞暦** the history of our prizes

2018 (平成30年)

TAMA-GNT企業に認定 **1月**

「はばたく中小企業・
小規模事業者300社」に選定 **3月**

「埼玉発世界行き」冠奨学金で感謝状 **3月**

オリンパス株式会社様より感謝状を授与 **5月**

上田埼玉県知事より「彩の国みどり基金」の
感謝状を授与 **6月**

タイ「PROPAK ASIA」で受賞 **6月**

SANYO DENKI PHILIPPINES, INC様より
サプライヤ賞を受賞 **6月**

2018年日本パッケージングコンテストで
【ロジスティクス賞】を受賞 **9月**

当社社屋がアーキタイザーA+アワード2018を
受賞致しました **12月**

2019 (平成31年)

「ダイヤモンド経営者倶楽部表彰」
2018年度優秀企業賞を受賞 **1月**

「埼玉発世界行き」
冠奨学金で感謝状 **5月**

「彩の国みどり基金」への寄付に対する
感謝状を頂きました **6月**

KPTHが「Asia Star 2018 Awards」において
賞を受賞しました **6月**



<https://www.kanepa.co.jp>

カネパッケージ株式会社

〒358-0046 埼玉県入間市南峯 1095-15
TEL 04-2936-3031 FAX 04-2936-3036

KANEPACKAGE